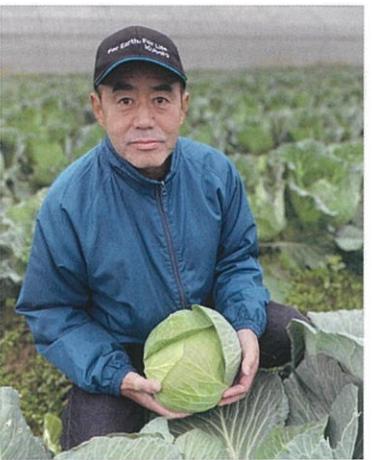


担い手農人を結ぶ

日々「わくわく」野菜づくり



勝見 和夫

編集・発行
竜王町農業委員会
TEL: 58-3712

私は、一七反の圃場で花卉も少しありますが、露地野菜を主に栽培しています。野菜は旬の物が一番美味しいと言います。野菜は人々から力を借りて一四年目に入りました。

私は、一七反の圃場で花卉も少しありますが、露地野菜を主に栽培しています。野菜は旬の物が一番美味しいと言います。野菜は自然が相手ですので、前作が良かったからと言つて今期も決して良いとは限りません。周りの人からのアドバイスや日々経験した事を頼りに頑張っています。

今は、約二十種類の作物を、圃場をローテーションしながら作付けしています。現在の販路は、京都市場、県内スーパーのインショップ、そして学校給食等です。これからも求められるものを作り続けられたら良いなあと思っています。

田中の土質は粘土質で、野菜づくりには向きです。そこで排水性を改善する為に、念願であったサブソイラーを昨年導入しました。未だ一作ですが、

農業委員会だより

竜王町農業委員会だより

良くなっているのを実感しています。また、土づくりの方では堆肥を入れたほうが良い結果が得られるので、今後積極的に入れていこうと思っています。

人が生活するのに、農業は必要不可欠で、形態は変わっても消える事はありません。自分も若くは無いので、思ひ切った事は無理かもしませんが、「マイブランド」を作るという目標を持ち、プラスはプラス、マイナスもプラスに変えるという思いで、家族や周りの人の力を借りながら、「わくわく感」を大切にし、野菜づくりに精を出していくたいと思います。

きらりファーマー

農業への思い

私の父と兄は、調理師であり、私も食に関わる仕事に携わりたいと思つていました。

そこで、幼い頃家庭で野菜を育ており、できた野菜を両親に食べてもらいたい、「美味しい」と言わされたのがとても嬉しかったのを覚えていたので、農業を選びました。ただ農業をやるなら自分が好きな果物を育てたいと思っていましたが、改めて思うと私は農業大学である「県立かながわ農業アカデミー」に入学、果樹を専攻し2年間果樹を中心で農業を学んできました。

そして、2021年3月に株式会社ファームタケヤマに、果樹担当として就職しました。

最初の頃は、神奈川県から離れていたのですが、田んぼや果樹園などで作業していると、隣の田んぼや園の人から、「何しているの」や「この作業こうした方がいいよ」と声をかけた。でも良かったと今は思っています。

また弊社では、果樹園はブドウ・梨・イチジク、水田は米・麦・大豆、秋冬季露地野菜としてキャベツを栽培しております。



株式会社ファームタケヤマ
果樹部 園芸特産担当 小林一諒

農地転用完了後は報告が必要です！



「農地転用して家が建った！」 「田をしていたけど、田畠転換して畠になった！」
→農業委員会から許可された目的物が完成したら、完了報告が必要です。

完了報告書の提出をお願いします！

詳しくは竜王町農業委員会まで御相談ください

竜王町賃借料情報

令和3年1月から令和3年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりとなっております。

令和4年1月11日

竜王町農業委員会

田(平坦地区) ほ場整備済田	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
	8,000円	11,000円	2,000円	300筆	
畠(全町一円)	7,200円	10,000円	5,000円	一	データ数が5件未満でしたので、前年度の平均額等を掲載しています。
樹園地(全町一円)	10,000円	10,000円	10,000円	一	データ数が5件未満でしたので、前年度の平均額等を掲載しています。
【参考】使用貸借(無償で使用する契約)					25筆

◆注意事項

- ※1 農地法第52条の規定に基づき、農地の賃貸借の際の目安としていただくため、情報提供するものです。
- ※2 令和3年1月から令和3年12月に実際に締結(公告)された農地の賃貸借契約の賃借料をもとに作成したものです。
- ※3 実際の賃借料は、耕作条件等を勘案し、当事者間で話し合いの上決定してください。
- ※4 平均額の算定については、データの平均値(平均値×70%)を超えるものを除いたデータを対象としています。
- ※5 この情報の作成にあたり、賃借料が物納支給のものは対象外としています。
- ※6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

編集委員

小出 豊	西村 之宏	田中 真博	西村 幸千代
柏村 要	近藤 浩一	松林 八好	

(西村 幸千代)

今年こそは、コロナが終息する事を願いたいと思います。
今年こそは、コロナが終息する事を願いたいと思います。

寅は動くの意味で春が来て草木が生ずる状態を表しています。今年は五寅の寅年ともいわれ三十六年に一回訪れ、前回は昭和61年です。黄の寅年生まれの人は一般に運気が強いといわれています。

編集後記

令和3年度 農業委員会 活動報告

● 農地パトロール（利用状況調査）の実施

農業委員会では、優良農地の確保および遊休農地の把握と解消等、農地の有効利用促進に向けて、毎年町内の農地を対象に利用状況（耕作中・保全管理・遊休化等）の調査を行っております。

今年度につきましても、10月から11月にかけて農業委員・農地利用最適化推進委員が連携し農地パトロールを実施しました。

今後も引き続き農地の有効利用の促進に向けて取り組んで参ります。



● たんぽのこ推進事業

毎年、両小学校で、食育活動の一環として「農業体験」が行われています。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中での体験となりましたが、マスク着用や間隔をあける等対策をとりながら、5月には田植え、9月には稲刈りが行われ、農業委員会もたんぽのこ推進会議の一員として参加し、児童との交流を図りました。

また、秋には児童の皆さんのが収穫したお米の試食や農業にまつわる発表などを行う感謝祭が開催され、招待いただきました。



● 町に対し意見書および要望書を提出しました

12月13日、竜王町に対し「竜王町農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」および「竜王町農業施策等に関する要望書」を提出しました。

「竜王町農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化について
 - (1) 認定農業者等担い手の確保・育成
 - (2) 担い手への支援
 - (3) 人・農地プラン
- 2 遊休農地の解消について
- 3 新規参入の促進について
- 4 農地の適正利用について



「竜王町農業施策等に関する要望書」

- 1 自然災害被害等への支援について
- 2 農業生産基盤の整備と保全について
- 3 有害鳥獣対策について
- 4 女性農業委員登用の維持拡大について
- 5 竜王町農業振興ビジョンの策定推進について
- 6 その他



意見書・要望書の内容については
下記QRコードを読み取ってください。

<意見書>

<要望書>



● 人・農地プラン策定に向けた取組

■ 林地区

林の水稻面積は、460反ありこれを認定農家と個人および法人で栽培に取り組んでいます。年々、耕作者の高齢化が進み現状のままでは農業ができなくなり将来の農業に不安がある事から「人・農地プラン」の策定に取り組むことになりました。

農事改良組合が中心になり関係者の代表者で策定委員会を設置し農地利用最適化推進委員、農業委員にも助言者として加わっていただき策定委員会でいろいろと協議を行っております。
現状の把握と将来の希望等をアンケート調査することになり内容について検討を重ね漸くアンケート表が完成しました。

これからアンケート調査を実施しますが、回答結果を見定め将来認定農家と法人が農業を背負っていける様また、若い後継者を育成できる様問題点への取り組みを行い、耕作者および地権者も含め地域農業が維持出来る「人・農地プラン」の策定を目指し関係者で協議を重ねていきたいと思います。

■ 東出地区

東出地区として、「人・農地プラン」の取り組みを開始した理由として、農戸数の減少が挙げられます。昔は東出区総戸数の半分の40戸は農家でしたが、今は10戸にまで減少してしまいました。農作業に携わる年齢も70歳に近い人が多いため、後継者をどのように確保するかも問題となっていました。

そこで令和3年5月には、地域における農地利用などの状況を把握するため、農家・土地持ち非農家を対象に地域農業の将来に関するアンケートを実施しました。

地域での話し合いを行うため、アンケート調査結果を地図に落とし込む作業を実施しています。また、今後の進め方を農業委員会や関係部門とも共有しておく必要があるので、早い時期に打合せを実施すべく関係者と調整を計画しているところです。